

紫山夫婦センノキ (むらさきやまめおとせんのき)

最上郡舟形町舟形 紫山地内

(案内略図)

舟形町榎坂(くぬぎざか)の山神神社に幹周7mの全国三位のハリギリがある。ハリギリは、地方ではセンノキと呼ばれることが多く、隣に幹周5.2mのハリギリがあるため夫婦センノキとも言われている。樹齢は約六百年で、樹高は25mある。

展開したばかりの芽は、同じウコギ科のタラノキやコシアブラと同様に山菜として食用にされる。木材としては、ケヤキに似た木目を持つことから櫨の代用品として使用される。 [山形県森林協会]



夫婦の木の木(ハリギリ)
図に示すように男を持つ榎坂で妻が別の業に就いていることから、ハリギリとよばれる風俗です。地方では「ハリギリ」という名称よりも、「セイの木」あるいは「センの木」と呼ばれることが多いようです。和名はウコギ科ハリギリ属の「ハリギリ」が正式名称です。
ここでは大小二本のハリギリの巨木が、大が幹周二十五メートル、幹七メートル、高さは高さ二十メートル、幹五、二メートル、大が全周三回、小が全周十二回に回していることがわかります。(自撮り・巨木情報センター調べ)
樹齢は約六百年と推定されていますが、図に示すように男を持つ榎坂で妻が別の業に就いていることから、ハリギリとよばれる風俗です。地方では「ハリギリ」という名称よりも、「セイの木」あるいは「センの木」と呼ばれることが多いようです。和名はウコギ科ハリギリ属の「ハリギリ」が正式名称です。
ここでは大小二本のハリギリの巨木が、大が幹周二十五メートル、幹七メートル、高さは高さ二十メートル、幹五、二メートル、大が全周三回、小が全周十二回に回していることがわかります。(自撮り・巨木情報センター調べ)
樹齢は約六百年と推定されています。

【森林やまがた132号(2011年3月)記載】